

ボランティアNEWS

第46号(2011年1月)

1月の研修会のお知らせ～文化財課

1月のボランティア研修会は「ホトケの見かた入門」第4弾です。[1月22日\(土\) 10:00から、文化財課で行ないます。](#)

これまでの「ホトケの見かた入門」では、ホトケの階級である「尊格」や、仏教美術に用いられる材料や技法、また仏教絵画のさまざまなテーマなどについてお話ししてきました。が、いよいよ、仏教絵画を時代ごとに見ていきたいと思えます。今回は飛鳥時代・奈良時代を取り上げます。題して「仏画で知る歴史 飛鳥・奈良編」です。

仏教が日本に伝わったのは、6世紀半ば頃とされています。さまざまな経典と共に、ホトケの姿を表した彫刻や絵画ももたらされました。そしてそれらをお手本にしながら、日本においても数多くの仏像や仏画が作られました。数は決して多くはありませんが、千年以上経った今も遺っており、私たちが目にすることのできるものもあります。

作品の大半は銘文などもなく、いつどこで誰が作ったものか、すぐには分からないものばかりです。しかし、当時の人々が祈りを込めて作った仏像や仏画たちは、文字には表さずともその時代を語っています。それは例えばホトケの顔立ちや表情であったり、絵画全体の色遣いであったり、ホトケが描かれた麻や絹そのものであったり、そういったところに現われています。つまり、作品を「読む」ことができれば、その作品の生きた時代を知ることができるのです。今回は飛鳥時代・奈



教科書でもおなじみの法隆寺玉虫厨子。この厨子に描かれた絵も立派な仏画です。

山川出版社『詳説日本史 改訂版』(1999年3月発行)より抜粋

良時代の仏画について、作品解説も交えつつお話ししていきたいと思ひます。

これまでの「ホトケの見かた入門」に参加されていなくても構いません。初めての方もそうでない方も、仏画の世界を楽しんでいただけるようお話しします。[参加を希望される方は、事前に文化財課までご連絡下さい。](#)（文化財課 中原）

募集しま〜す！

1 研修会のご案内 ※事前に担当施設にご連絡ください。

日時	事業名	内容	会場（担当施設）
1/22(土) 10:00~12:00	「ホトケの見かた入門IV 仏画で知る歴史 飛鳥・奈良編」	仏教絵画を見るための基礎知識を学びます。	文化財課

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください！

※事前に担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場（担当施設）
1/15(土) 9:30~12:00	出張事業 「まが玉づくり」	滑石のまが玉作りの指導	中区 竹屋公民館 (文化財課)
1/22(土)・29(土) 13:00~15:00	教室事業 「磯の香り！ノリスギ体験」	ノリスギ体験の指導	郷土資料館

広島城	担当/本田・玉置	TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519 メールアドレス 本田 honda@rijo-castle.jp 玉置 tamaki@rijo-castle.jp ホームページ http://www.rijo-castle.jp
郷土資料館	担当/大室・山縣・前野	TEL 082-253-6771 FAX 082-253-6772 メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp ホームページ http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/
文化財課	担当/田原・荒川	TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513 メールアドレス 田原 tahara@mogurin.or.jp

